

ローコスト
& 短時間

袖ヶ浦カンツリークラブで バンカー再生工事

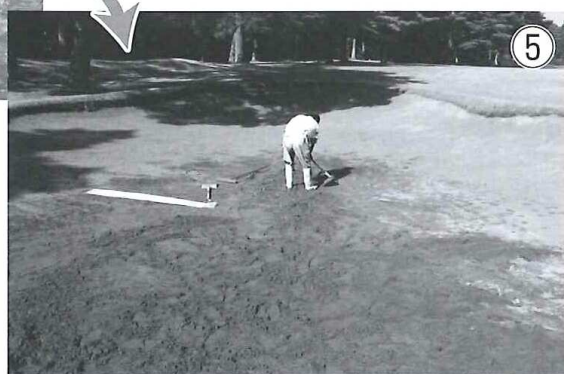
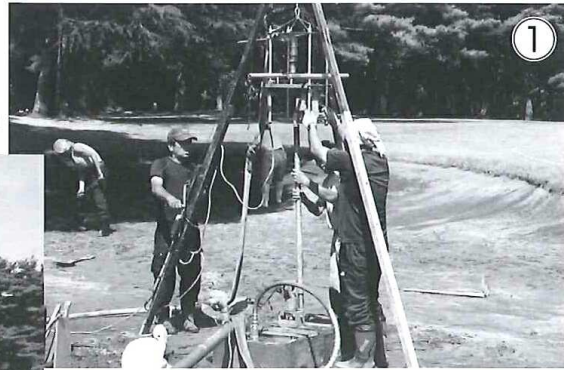
袖ヶ浦カンツリークラブ袖ヶ浦コース（18ホール・千葉県）は、透水性が悪化し雨が降ると水たまりになってしまいうバンカーの再生工事を実施している。「現在約半分ほどの工事が終了しています。

当ゴルフ場には約90箇所のバンカーがありますが、その中で排水が悪いバンカーの工事を3年ほど前から依頼しています。経過が良好なので、今年もお願いしました」（伊藤哲也コース管理部長）。

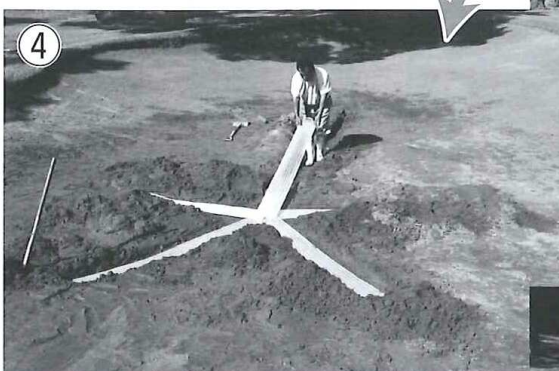
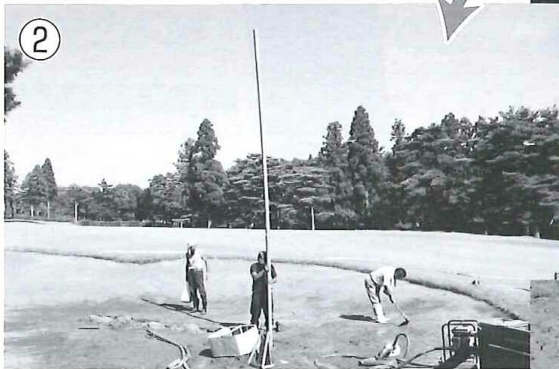
この工法は東北グリーン興産（☎0248・62・2619）が開発したもので、工事の流れは、

まず高圧の水を流しこんだり、上から水をかけることで砂に付着した泥やシルトを洗い流す。その後使用した水をポンプで汲みあげ、水が集まるバンカー内の一番低い場所に暗渠を設置する。

作業時間はバンカーの大きさにもよるが、取材当日の11番クロスバンカーの工事は約5時間で終了した。袖ヶ浦CCは休場日を設けているので、工事は主に休場日に行われるが、営業中も施工は可能である。なお基本価格は1㎡2千円で、砂を運び出して洗浄する方法などに比べて安く抑えられている。



↑市販のトラクターを改造した高圧洗浄機。洗浄後の汚水はポンプでくみ上げコース外に排水する。



排水改良工事はドリルで約10メートルの穴を開け①、その後排水管を通す②。袖ヶ浦CCの場合は表面下6mに粘土層があり、その層を越える排水管が必要なためという。完全に埋め込んだら③、暗渠板（プレート）で水の流れを作り④、最後に砂をかけきれいに均し⑤完成となる



コース管理部長
伊藤哲也氏